小学校５年　国語　調査結果の考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類／設定通過率の	観点別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	
＋10％ より高い	0	0	1	0	1
±10％ の範囲内	1	1	1	7	１０
－10％ より低い	1	0	2	2	5
計	2	1	4	9	１６

（２）考察

①　全体について

ア　前年度挙げられていた「書くこと」及び「言語事項」に関する課題について、指導の成果が見て取れる。

イ　「読むこと」では、内容理解に関する問題は比較的良好な結果であるが、読み取ったことを表現に結び付ける問題に課題が見られた。

②　成果

ア　昨年度からの経年課題の通過率が、修飾・被修飾に関する問題で33.6ポイント、「書くこと」に関する問題では10.8ポイント向上した。

イ　初出である古文の音読の力を問う問題、及び漢字の読み書きについての問題は、おおむね良好な結果であった。

③　課題

ア　「話すこと・聞くこと」では、話合いを計画に沿って進めることについて、児童の意識を高めていく必要がある。

イ　「読むこと」では、文章の内容を的確に押さえて、指定された形式に沿ってまとめる力を向上させる必要がある。

ウ　「言語事項」では、漢和辞典の部首索引を用いて漢字を調べる方法を正確に理解させる必要がある。また、毛筆書写では、運筆の仕方を意識した指導が求められる。

（３）今後の指導

ア　「話すこと・聞くこと」では、話合いにおける役割に基づいて、立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話合いを進める学習を充実させたい。

・司会者、提案者、参加者等の役割や話合いのルール等を、具体的な場面を基に体験的に学習する機会を設ける。

・必要感のある議題とそれにふさわしい話合いの形式を選定して、自主的に話合い活動に取り組ませる。併せて、効果的に話すための工夫や、話し手の意図を捉え自分の考えに生かすことについても指導する。

・身に付けさせたい力と指導の系統を明確にし、話合い活動を計画的に実施して着実な力の定着を図る。

15）内田さんの意見のあと、司会の小林さんはどのように会を進めるとよいでしょうか。最も適切なものを次のア～エから一つ選んで、□の中に記号を書きなさい。

全国調査との関連問題
共通問題小５～中１

イ　「読むこと」では、文章の重要な点を的確に押さえて、求められている分量や表現の仕方に合わせてまとめる力を高めていきたい。

・段落の要点をまとめる際、キーワードやキーセンテンスにに加え、前後の段落との関係からその段落がもつ役割にも注目させることが重要である。

・指定された条件に見合うように適切な言葉を選んで用いることを意識させたい。

・全体の場で要点のまとめ方を入念に指導した上で、学習の個別化を図っていきたい。その際、既習の文章や児童の興味・関心に即した文章を用いるなど、取り扱う教材文を工夫したい。

12）この文章を次のように要約しました。□にふさわしい内容を、文章中の言葉を使ってあとの解答らんに**十五字以内**で書きなさい。

全国調査との関連問題